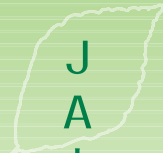
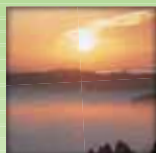


ミニディスクロージャー誌

DISCLOSURE 2011



JA十日町からのメッセージ



JA十日町

本店所在地 新潟県十日町市高山641番地1
設立 平成10年3月1日
総資産 1,508億7,744万円
出資金 30億9,052万円
店舗数 本店・14支店
職員数 354名

経営理念

1. 素敵な笑顔と元気な挨拶をもって組合員にサービスを提供する。
2. 「農」を中心とした豊かな地域づくりに貢献する。
3. 組合員が安心して生活できる地域づくりに貢献する。



JAバンクは地域に根ざした金融機関です。

主要資産負債の推移

(単位:千円)

	H21年2月末	H22年2月末	H23年2月末	前年対比
貯金	134,598,555	132,998,299	136,023,077	102.3%
貸出金	43,453,224	42,482,599	40,736,451	95.9%
預け金	81,462,409	77,720,647	81,909,478	105.4%
有価証券	15,740,465	17,490,313	18,380,967	105.1%

■貯金残高は前年を若干上回り、前年対比102.3%となりました。

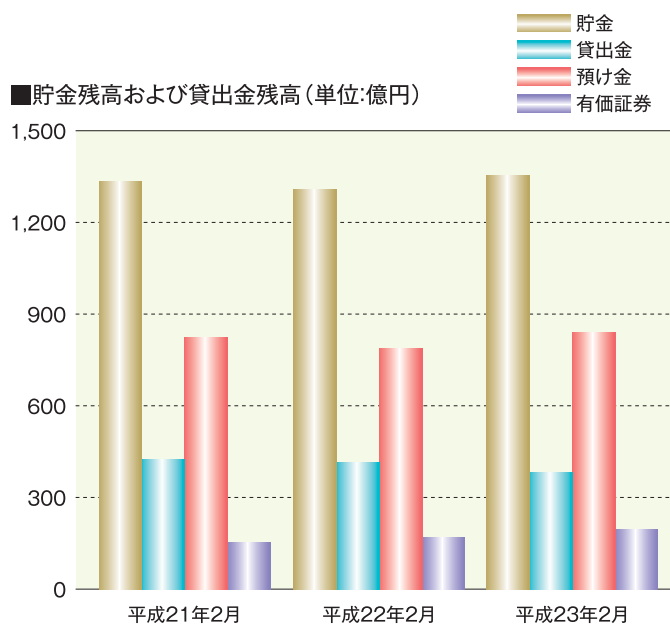
■貸出金残高は前年を下回り、前年対比95.9%となりました。

収益の推移

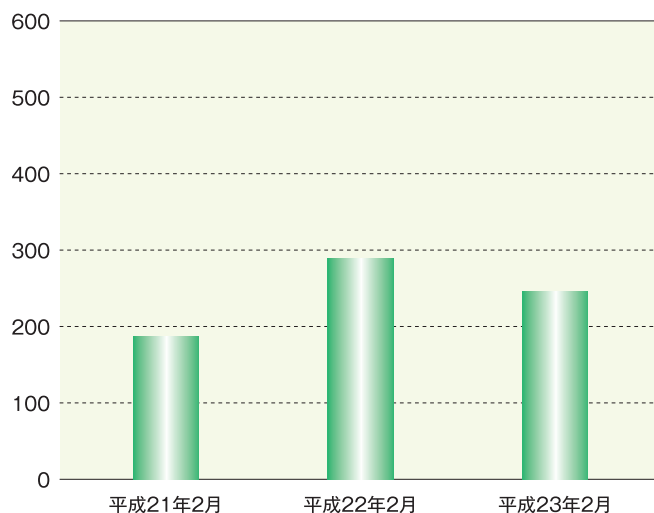
(単位:千円)

	H21年2月末	H22年2月末	H23年2月末	前年対比
事業利益	193,484	299,493	251,017	83.8%
経常利益	354,129	459,773	443,929	96.6%
当期剰余金	247,321	391,642	296,228	75.6%

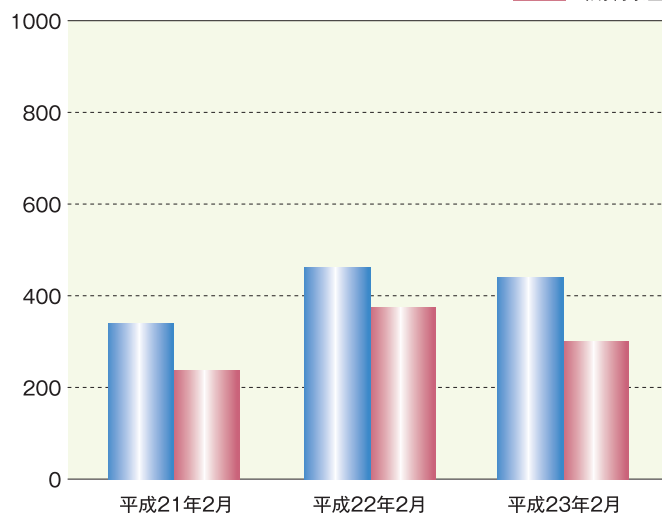
■上記数値は、信用事業を含めた全事業の合計額です。



■事業利益(単位:百万円)



■経常利益および当期剰余金(単位:百万円)



開示債権の状況

当JAは、資産査定の実施にあたり、債務の履行状況とお客様の財務状況により、厳格な資産査定を実施しております。不良債権比率は、21年2月末4.25%、22年2月末3.48%、23年2月末3.05%と年々改善しております。今後も当JAは、お客様への提案・アドバイス等により、不良債権の発生防止に努め、健全経営に努めます。

(単位:千円)

債務者区分	資産査定と保全の状況						金融再生法開示債権		リスク管理債権	
	貸出金 a	貸出金に 準ずる債権 b	残高 c(=a+b)	保全額 d	引当金 e	保全率 (d+e)/c	区分	残高	区分	残高
破綻先	10,921	0	10,921	114,155	164,283	100.0%	破産更生等 債権	278,123	破綻先債権	10,921
実質破綻先	267,202	316	267,518						延滞債権	1,007,178
破綻懸念先	739,975	6,762	746,738	465,790	275,293	99.2%	危険債権	739,975		
要注意先	(うち要管理債権)	(228,011)	(228,011)	(84,549)	(796)	(37.4%)	要管理債権	228,011	3ヶ月以上 延滞債権	0
	要管理先	465,274	11,708	476,982	262,390	1,659			55.3%	貸出条件 緩和債権
	その他要注意先	3,070,429	126,602	3,197,032				正常債権	39,605,227	
正常先 (地公体等を含む)	36,182,648	603,774	36,786,422							
合計	40,736,451	749,164	41,485,615				合計	40,851,338	合計	1,246,110

- ※「金融再生法開示債権」とは、「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律施行規則」第4条の規定による開示債権です。
- ※「リスク管理債権」は農業協同組合及び農業協同組合連合会の信用事業に関する命令第55条第1項第5号の規定によるものであり、貸出金の元金を対象としています。
- ※「貸出金に準ずる債権」とは、購買未収金等の貸出金に準ずる債権ならびに貸出金等に係る未収利息です。

自己資本の状況

JA十日町では、組合員の皆様の大切な財産をお預かりするにあたり、組織の財務基盤を安定・強化するため、自己資本の充実にも努めています。また日頃、債権管理に万全を期すとともに法令を遵守し、基準に基づいた引当処理を実施しております。

平成23年2月末の自己資本比率は23.32%で、国内基準(4%以上)および国際統一基準(8%以上)を大きく上回る、健全で安心いただける財務内容となっております。

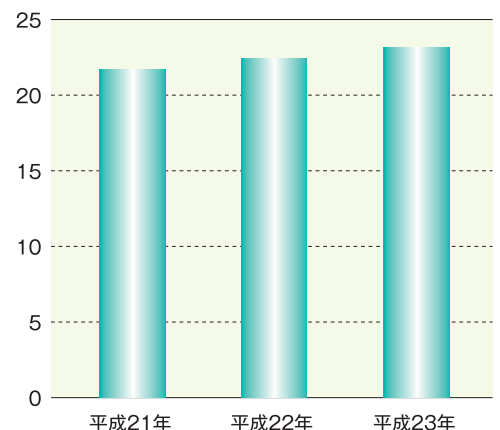
自己資本比率の推移

(単位:百万円)

	21年2月末	22年2月末	23年2月末
自己資本総額(A)	10,498	10,817	10,990
リスク・アセット(B)	48,645	47,943	47,122
自己資本比率A/B×100	21.58%	22.56%	23.32%

※自己資本比率とは、総資産に占める自己資本の割合であり、JAの健全性・安全性を示す重要な指標のひとつです。

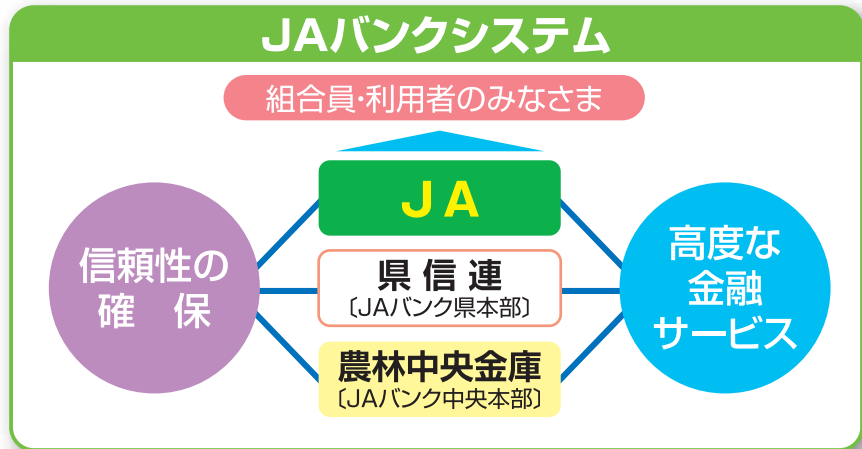
■自己資本比率(単位:%)



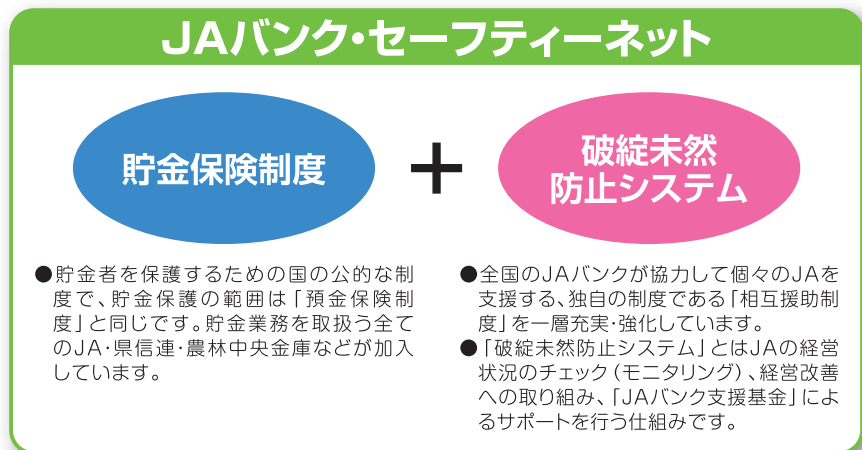
皆様大切な貯金を、JA独自の制度で守っています。

万全の体制で組合員・利用者みなさまに、より一層の「安心」と「便利」をお届けします。

「JAバンクシステム」とは、JA・県信連・農林中央金庫のJAバンクグループが一体となって、「信頼性の確保」「高度な金融サービスの提供」を2本柱に掲げ、組合員・利用者みなさまに、「便利で、安心な」金融機関としてご満足いただけるサービスを提供していくシステムです。



「JAバンク・セーフティーネット」とは、公的制度である「貯金保険制度」と、JAバンク全体で経営健全性を確保する取り組みである「破綻未然防止システム」によって、組合員・利用者みなさまにより一層の安心をお届けする仕組みです。



JAは、地域の皆さまのための身近で便利なバンクです。

JAでは、貯金をはじめ、ご融資や、振込・口座振替などのニーズに応えることはもちろん、JAグループ全体のネットワークと総合力で、地域の皆さまにより身近で、より便利なメインバンクとなることを目指しています。（JAは全国津々浦々に民間最大の店舗網を展開しています。）

JAは、どなたでもご利用いただけます。

JAの貯金や振込・口座振替等は、どなたでもご利用いただけます。さらに、JAの店舗が所在する地域の皆さまであれば、一定の手続きをおとりいただくことにより、ご融資などのサービスを受けることもできます。

JA十日町・金融商品の勧誘方針

当組合は、金融商品販売法の趣旨に則り、貯金・定期積金、共済その他の金融商品の販売等の勧誘にあたっては、次の事項を遵守し、組合員・利用者の皆さまの立場に立った勧誘に努めるとともに、より一層の信頼をいただけるよう努めてまいります。

1. 組合員・利用者の皆さまの商品利用目的ならびに知識、経験、財産の状況および意向を考慮のうえ、適切な金融商品の勧誘と情報の提供を行います。
2. 組合員・利用者の皆さまに対し、商品内容や当該商品のリスク内容など重要な事項を十分に理解していただくよう努めます。
3. 不確実な事項について断定的な判断を示したり、事実でない情報を提供するなど、お客様の誤解を招くような説明は行いません。
4. お約束のある場合を除き、お客様にとって不都合と思われる時間帯での訪問・電話による勧誘は行いません。
5. 組合員・利用者の皆さまに対し、適切な勧誘が行えるよう役職員の研修の充実に努めます。